

聴能だより



令和8年5月29日発行
新潟よつば学園 聴能部



聴能週間のお知らせ



6月6日は
補聴器の日

今年度の聴能週間は、6月中に学部ごとに期間を設定して取り組みます。それぞれの実態に合わせて、補聴機器やきこえに関する学習会、集会活動などを計画しています。補聴機器の故障原因でいちばん多いのが「湿気」です。梅雨や気温の上がるこれからの時期は、どうしても故障が増えてきます。この機会に、機器の適切な使い方や管理方法について、ご家庭でも再度確認をお願いします。

<アンケートのお願い>



今年度も「補聴器や人工内耳についてのアンケート」のご記入をお願いいたします。内容は、主に自分の使っている補聴機器や日頃の手入れに関する質問で、毎年この時期に改めて確認していただいております。

アンケートは全学年同じものをお配りします。学年が上がるにつれてお子さん自身で回答できる部分が増えると思いますが、まだ回答が難しい箇所は保護者でご記入ください。お忙しい中お手数をお掛けしますが、6月15日(月)までにご記入いただき、各学級担任にご提出ください。

空気電池について改めて確認しましょう！



① 購入時

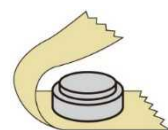
聴能室に、お子さん自身が電池を買いに来るケースがあります。補聴機器の自己管理に向けて、とても大切なことです。その際、電池の色（青かオレンジか茶）を覚えておくとスムーズに購入できますので、お子さんと確認してみてください。また、空気電池の「価格」は購入先により大きく異なりますし、「使用推奨期限」（←パッケージに記載）は、意外と短い場合もありますので、それらについても確認してみると良いと思います。

② 使い始め

「電池を交換したのに補聴器が動かない！故障？」という経験をされたことはないでしょうか？空気電池は、シールをはがすことで電池の空気あなから酸素が取り込まれて機能します。パッケージ裏に「シールをはがして1分ほどお待ちください」との記載があるように、シールをはがした直後は機能しない場合がありますので、しばらく放置してからご使用ください。

③ 処分方法

使用済みの電池は、補聴器販売店や電器店などで回収箱を設け、リサイクルに回している所もありますが、店舗により異なりますので、ご確認ください。



その他、各市町村のごみ収集方法（例：新潟市は月1回の特定5品目で回収）に合わせて捨てることもできます。いずれの場合も、セロハンテープでくるんで処理をお願いします。絶縁状態にすることで発熱・発火等の事故を防ぐことができますし、新品と区別することができます。実際に数年前にボタン電池による火災事故が起きています。